



同時開催!



みえの育児男子
フォトコンテスト
ベストショット賞

受賞者
決定!



第2回

ファザー・

オブザ・イヤー

in みえ



みえのステキな“育児男子”を紹介します!

協賛

(株)伊賀の里 モクモク手づくりファーム
奥伊勢フォレストピア
合歓の郷ホテル&リゾート
里創人 熊野倶楽部



表彰式

平成27年10月12日(月・祝)
会場:三重県総合文化センター



主催/三重県

後援/三重労働局

協力/三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」

第2回

ファザー・オブ・ザ・イヤー

in みえ

夫の家事・育児時間が長いほど、第2子以降の出生割合が高いといわれていることから、三重県では少子化対策の重要な項目の一つとして、「みえの育児男子プロジェクト」と銘打って、男性の育児参画の推進に取り組んでいます。

本事業は、一人でも多くの県民の皆さまに、男性の育児参画について関心を持っていただくことを目的に、子育て中の男性や、男性の育児参画を応援しているグループ、職場で従業員等の仕事と育児の両立を応援している上司や先輩等を募集し、「ステキな子育てをしている!」として多くの共感を得られた方々を、「ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ」として表彰し、その内容を紹介する取組です。本事業にご協力いただきました企業や団体の皆さま、ご応募いただきました皆さまに対し、心より感謝申し上げます。（募集期間：平成27年6月1日～8月31日）

大賞：5名・1団体 … P1～P6

①“我が家の育児男子”部門

菰野町 おおつか 大塚 ゆうすけ 裕介 さん
伊勢市 こにし 小西 たかお 隆緒 さん
四日市市 しみず 清水 まさゆき 正行 さん

自慢のイクメン夫や子どもとの外遊び・スポーツが大好きなお父さん、昔ながらの遊びを教えてくれる孫大好き“育ジイ”など、その人なりの方法や関わり方で、ステキな育児をしている男性を紹介いただく部門です。

②“私の街の育児男子応援団”部門

四日市市 パスマイル四日市

お互いの子育てを応援しあっているパパ同士の集まりや、子どもの育ちを応援するためのさまざまな地域活動に取り組んでいる男性やグループ、団体などを紹介いただく部門です。

③“イクボスさん、いらっしゃい!”部門

株式会社山下組
志摩市 やました 山下 のぶやす 信康 さん

部下の育児参画に理解があり、仕事と育児の両立をしっかりと応援してくれる経営者や上司、先輩など（＝イクボス）を男性・女性問わず紹介いただく部門です。

④“仕事も育児もこうして両立♪”部門

イケダアクト株式会社
松阪市 おくたに 奥谷 まこと 真 さん

育児と仕事を両立させるための効率的な仕事術、育児の経験が仕事に役立つエピソード、仕事が忙しい中で実践しているアイデア育児法などを紹介いただく部門です。

部門賞：3名・1団体 … P7・P8

①“我が家の育児男子”部門

桑名市 まつうら 松浦 さん
津市 もり 森 宏記 さん

②“私の街の育児男子応援団”部門

鈴鹿市 鈴鹿市立明生小学校 おやじの会

③“イクボスさん、いらっしゃい!”部門

一般財団法人食品分析開発センター SUNATEC
名古屋市（四日市市勤務） はっとり 服部 さとし 聡司 さん

みえの育児男子ベストショット賞：5名 … P9

いなべ市 ひらお 平尾 あみ 亜美 さん
伊勢市 なかぜこ 中世古 けんご 健吾 さん
津市 あさくま 朝熊 りか 莉加 さん
鈴鹿市 みさわ 三澤 あや 亜耶 さん
亀山市 はっとり 服部 りえ 梨恵 さん



第1回「ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ」表彰式
平成26年11月23日（日・祝）
三重県総合文化センター

ファザー・オブ・
ザ・イヤー in みえ

大賞

“我が家の
育児男子”部門

菰野町

おおつか ゆうすけ

大塚 裕介 さん

推薦者 大塚 麻衣さん(妻)

育児対象 子ども(1歳)



推薦文…

我が家の家訓は「早寝・早起き・夕ご飯」です。夜はぐっすり眠って、朝から元気に活動すること。そして、夕ご飯はみんなで一緒にしっかり食べることを大切にしてきました。そんな我が家に2人目が授かったのは今年の1月でした。2人目に喜び間もなく、私はひどいつわりがはじまり、長男は1歳を過ぎたばかりで、まだまだ甘えたい盛り…。やらないといけないことはたくさんあるのに身体は言うことを聞いてくれず、気が付けば我が家の家訓は忘れ去られ、私は長男に対してイライラしてしまうこともありました。

そんな時にうちの夫は1時間の早出勤務を始めてくれました。朝は朝食を準備してから出勤し、夕方5時には帰宅、夕食作りに、お風呂に洗濯と大活躍してくれています。1時間早く出勤すると朝ご飯と一緒に食べられませんが、はさみや電子レンジをうまく使って手早く朝ご飯を用意しておいてくれます。夕食は18時に家族そろって「いただきます」ができるので、楽しい夕食の後でも余裕を持って寝るまでの時間を過ごすことができます。

1時間勤務時間をずらしたただけなのに、夫と長男の距離は大きく縮まりました。仕事から帰った後は一緒にご飯を食べてお風呂に入り、一緒に布団に入ります(時には夫が先に夢の中へ…)。夫は「最近健

康になった」と話していますが、子どもの生活リズムに合わせることで、子どもと一緒に過ごす時間が増えるだけでなく、大人の負担も減っていくことが分かりました。夫の育児参加で余裕が生まれたことで、私自身の精神的負担も大きく減りましたし、その結果、家族で笑う時間も今まで以上に増えたように思います。

「子どもの生活リズムに大人も合わせて生活をする」2人目ができてもこれを大切に家族みんなで協力して子育てに励んでいきたいと思っています。

審査員共感ポイント

- 審査員一同、「早寝・早起き・夕ご飯」のフレーズに共感！育児で実は一番大切で、子どもに教える一番重要なポイントをご夫婦で共有されている部分がステキ！
- 家庭のリズムをつくることで、仕事にもリズムが生まれ、何をするにもうまくいきそう。子どもはとっても素直だから、お父さん大好き！と大きくなって家族を大事にできるお子さんになりそう。

ファザー・オブ・
ザ・イヤーinみえ

大賞

“我が家の 育児男子”部門

伊勢市

こにし たか お

小西 隆緒 さん

推薦者 本人(自薦)／小西 めぐみさん(妻)

育児対象 子ども(1歳、15歳、16歳)



僕と妻は再婚です。そして彼女には二人の子どもがいます。現在15歳と16歳です。僕はいきなり難しい年頃の男の子の父親になりました。

いきなり高校受験の真っ只中。家中の空気がピリピリ、胃がキリキリ…そして中学の卒業式では皆さんに僕の号泣を披露。高校に入学してほっとする間もなく妻の出産がやってきました。2014年4月11日。元気な男の子です。

こうして現在五人家族です。何せ食べ盛りの食費は凄まじく、負けじと赤ちゃんもミルク飲む飲む！よって産後間もない妻に働いてもらってます。

妻は大学で就職支援の仕事をしています。繁忙期に突入する1月から僕は彼女に代わって家庭を守る「専業主夫」になるため育児休暇をとる決心をしました。会社も許してくれたのが嬉しかったですね。感謝しています。

初めての専業主夫の世界に戸惑いました。社会に関われない疎外感や子守り続ける事のストレスもあったんですね。本末転倒ですが、仕事から帰ってくる妻に対し八つ当たりをしてしまったこともあります。ごめんね…

子育てママの気持ちが少しだけ、痛いほどわかりました。

ですが、徐々に慣れてくるものですね。離乳食教室に赤ちゃんを抱えて出かける余裕もできました。その夜に早速覚えてきた献立を美味しく食べてくれました。嬉しいものですね。

こうして僕は通常、お父さんができない貴重な経験を3カ月もできたのです。

最後にミルク、離乳食、おむつかえ、絵本読み

等、奥さんともほぼ対等に張り合える、そう、僕はイクメンパパなんです。

めぐみさん推薦文…

三男の妊娠が発覚した時、主人は「俺はイクメンになる！仕事(私の)も頑張っしてほしいから育児はもちろんのこと家事もできる限り協力する」と宣言してくれました。

その言葉通り、三男が1歳4カ月になった今でも育児に仕事に家事に奮闘してくれています。

育児は大変なこともあります。我が家では、「どちらが家事育児を担当する」ということではなく、「できる方ができることをやる」という方針のもと、夫婦二人三脚で協力しながら乗り越え、家族みんなが平和に過ごすことを楽しんでいます。

審査員共感ポイント

- ご夫婦それぞれの応募ということで、お互いが認め合って、育児を共有しているところが伝わってきた！
- 専業主夫になるというのは勇気がいること。共働きで今はお互いが支え合っているところを見ると今の時代のいい夫婦の形だと思う。
- パパが、子育てに専念された専業主夫の間、「社会に関われない疎外感」を味わったという点がとても大切なこと！

ファザー・オブ・
ザ・イヤーinみえ

大賞

“我が家の
育児男子”部門

四日市市

しみず まさゆき

清水 正行 さん

推薦者 佐藤 理絵さん(孫)

育児対象 ひ孫(3歳、5歳)



推薦文…

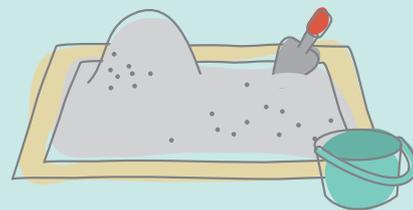
毎朝、隣の実家へ向かい、「ひいじいちゃんどこ？」と探す息子たち。いつも遊び相手をしてくれるひいじいちゃんが大好きです。

祖父は遊具を手作りで作って遊んでくれます。そのなかで、息子たちが特に気に入っているのが鉄棒です。公園の鉄棒は少し高く作られていたので、低めに調節して作ってくれました。息子たちの成長に合わせた遊具を作ることができるので、そこが手作りの良さだと感じました。他にも、竹馬、サッカーゴール、砂場などを作り、庭を公園のような空間にしてくれました。以前は、私が忙しかったり、疲れているときでも「公園に行きたい」といわれると、一緒に行って遊んであげました。今では、そんなときには庭の遊具で遊んでくれるようになりました。私はその間に家事をしたり、ゆっくり過ごすことができ、すごく助かりました。

また、祖父は息子たちの事故防止対策もしてくれます。息子たちは家と実家を行き来するため、道路へ飛び出さないように柵を作ったり、危険な場所にはネットを張ってくれたりしました。おかげで家と実家をつないだ庭で安心して遊ばせることができる

ようになりました。その庭で祖父は息子たちと一緒に虫採りをしたり、植物を育てたりしました。虫が死んだり、植物が枯れていくときには命の大切さを教えてくれました。息子たちは、毎日たくさんの不思議に出会い、大発見があると必ず「ひいじいちゃん来て～」と呼びに行き、感動を伝えていました。

自然のなかでのびのびと子育てができる環境をつくってくれた祖父にとっても感謝しています。



審査員共感ポイント

- 子どものことを守ってくれる、考えてくれるひいじいちゃんがいる子どもさんたちは本当に幸せ！
- 三世代で育児をしてもらっているお子さんは、きっととても人の心のわかるお子さんに育つはず！
- ひいじいちゃんの子どもたちに対する愛情がものすごく伝わってきた！

ファザー・オブ・
ザ・イヤーinみえ

大賞

“私の街の育児男子 応援団”部門

四日市市

パパスマイル四日市

推薦者 佐藤 保幸さん(パパスマイル四日市メンバー)

育児対象 自分の子ども、メンバーの子ども



推薦文…

パパスマイル四日市は四日市市主催の「父親の子育てマイスター養成講座」の修了生、つまり、マイスター有志が立ち上げたグループです。「父親が子育てに楽しみながら関わることで父親も子ども母親も笑顔になり子育てしやすい地域をめざす！」をモットーに2014年1月から活動しています。パパ向け講座や父親と子どもの料理教室、家族イベントや絵本読み聞かせなどを実施しています。家族を笑顔にするパパをめざし、24名楽しみながら活動しています。

<主な活動内容(2014-2015)>

●「ファザーリング全国フォーラムinみえ」分科会の開催…四日市市で開催された全国フォーラムにおいて、四日市市と協働し、分科会「パパのスマイル会議！」を開催。

●はもりあ四日市の市民企画「さんかくカレッジ」…四日市市男女共同参画センター「はもりあ」における市民企画事業として、「父親の料理教室&ママは女子カアップ」など、父親そして家族が笑顔になるための3回連続講座を開催。

●朝日町「パパッとランチ講座」…朝日町とアイリスあさひさんの事業の講師として、パパと子どもの参加者に対し、前半は男女共同参画に関するワークショップを開催し、後半はパパと子どもの料理教室を開催。



●パパ'sえほんライブinよっかいちの誘致…全国フォーラムなどで培った「パパ活動」のネットワークを活かして、市立図書館による事業実施に結びつけるための橋渡しを行った。

●桑名市、亀山市、菟野町から要請があり、「出張よかパパ相談」的な活動として、地元のパパさんたちとの交流会や、絵本の読み聞かせなどを実施。

審査員共感ポイント

- 他の地域にも広がってほしい、パパの輪。仲間がいれば、いろんなことに挑戦できますね。
- 子どもを介したパパ友ってステキ!
- 父親が子育てを楽しむことで、父親も子ども母親も笑顔になり、子育てしやすい地域をめざすという考え方に、一同共感!

ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ

大賞

“イクボスさん、いらっしやい!” 部門

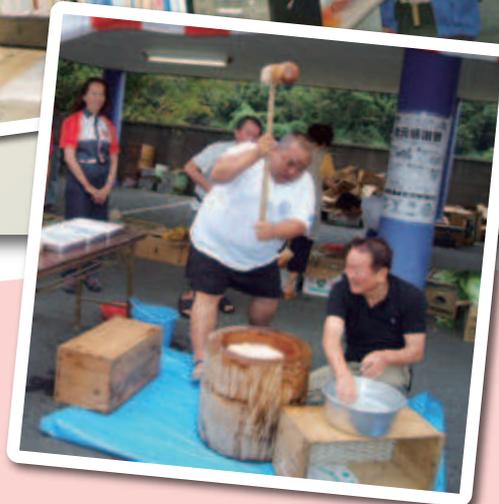
志摩市

株式会社山下組 代表取締役社長

やました のぶ やす

山下 信康 さん

推薦者 本人(自薦)



推薦文…

私は創業1916年の建設会社の社長をしております。弊社には女性の監督があり、その女性は元は現場への派遣事務員でした。彼女が弊社で監督になるまでの道のりを近くで見ていて、女性ならではの気遣い、男性に負けない仕事っぷり等々を目の当たりにし、私の中で『女性と共に作っていく会社の未来』がぼんやりと見えてきました。また、現在、弊社で役員をしている女性が、男社会の建設業で、子どもができてと離職し、子育て期間を経てから復職することを繰り返しきたという話を聞いて、男は子育てと言っても、やはりその大半が女性の手にゆだねられているという事実と労働力としての女性の素晴らしさを知り、子育てをする女性（男性も）を応援しなければ、会社の未来は無いと考えるようになりました。

●取組例1…以前、事務員の募集をした際に、応募してきた女性社員は、当初は『子どもの保育所の時間内でパートで働ければ。』と考えていました。しかしながら、弊社のある志摩地域は、働く場所も企業らしい企業もなく、どうしても時給で働くような仕事が多くなってしまいがちのため、私は、『時間は子育てに合わせて出勤すればいい。だから正社員として働いて、働くという事に意味を持たせ、意義を見出してほしい。』と話し、正社員になってもらいました。今も、この女性社員は子どもを保育所に送ってからの出勤をしており、お迎えがあるので4時には退社しています。

●取組例2…私の子どもが小学6年生の時、PTA役員をしていて担任の先生や校長先生とも話す機会に恵まれていたこともあり、子どもの学年を対象に弊社が施工している建築現場で現場見学会を行いました。

多くの児童に混じり、私の子どもや男性社員の子どもなどは、父親がどんな所で仕事をしているかを知る機会になったと思います。

●取組例3…ある男性社員とは、子ども同士が同級生で家も近所という事もあり、小さい時から家族ぐるみでの付き合いをしていました。彼が離婚した年には、旅行に行きたがらない男性社員とその子どもを誘い、私の車で3人で旅行に行きました。今年、社員旅行に行った時も、男性社員が旅行に行くと子どもが一人になるので会社負担で同行させました。

以上を踏まえて、私は女性社員全てに言っている言葉があります。それは、『女性として生まれたからには結婚もすべきだと思うし、出産も経験してほしい。子育てで苦労も経験してもらいたい、そのために会社としてできることは何でもしてあげるから、ぜひ、山下組で定年退職を迎えていただきたい。』と。

審査員共感ポイント

- 女性が活躍できる場をつくらうとしてくれるイクボスがいてくれると子どもを産んでも安心できる！
- 男性社長でこれくらい女性の働きやすい環境を作り上げていったことがステキ！
- 「子育てをする人を応援しなければ、会社の未来は無い」というのは、その通り！

ファザー・オブ・
ザ・イヤーinみえ

大賞

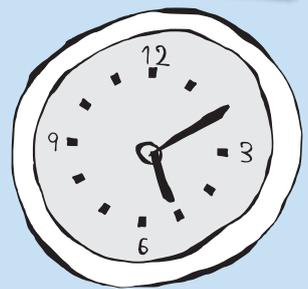
“仕事も育児も
こうして両立♪”部門

イケダアクト株式会社 勤務

おくたに まこと
松阪市 奥谷 真さん

推薦者 田中 基子さん(同僚)

育児対象 子ども(4歳、2歳、0歳)



推薦文…

彼は松阪から鈴鹿へ毎日、通勤している。奥様の三人目の妊娠が判明した時、彼は「定時退社宣言」をした。彼は弊社の大きな戦力で、仕事が集中するなど、それまでも多忙な日々を送っていた。その宣言は、本人はもちろん、周囲も、仕事の効率化、短期集中、協力をしなければならない。それでも彼は、仕事上の関係者と協力し、時には朝早く出勤するなど見えないところで努力を重ね、仕事の効率アップを実現した。

彼は私が古新聞を片付けていたら黙って運んでくれた。給湯室の湯飲みも自分の湯飲みのついでに洗ってくれる。社内外で評価が高いのも彼のこのさりげない仕事の仕方からくるのだろう。

遠距離通勤なので定時退社しても7時前に帰宅できたら良いほうだろう。それでも、少しの時間でも子どもと一緒にいたい、妻を支えたいとの思いから、帰宅後、食事、入浴、寝かしつけの世話をしている。

ベスト仕事人はベスト仲間、だからベストファザー間違いなしだと彼を見ていて思う。いがぐり頭で入社してきた子が気づけばこんなに立派なお父さん。周囲も協力的で、今も変わらず定時退社を実行している。

だから彼をぜひとも推薦したくて応募しました。そして先日奥様は無事に女の子を出産されました。

審査員共感ポイント

- 男性が「定時退社宣言」なんて、なかなかできるものではない！
- このような方が、当たり前にとんども増えて、「長時間労働が当たりまえ」「残業しているのがえらい」みたいな風潮は社会からなくしたい！
- 同僚の方からの推薦で、第三者から見てもとても理解のある育児と仕事の両立をされているんだと実感！

ファザー・オブ・ザ・イヤヤー in みえ

部門賞

“我が家の育児男子”部門

桑名市

まつ うら

松浦 さん

推薦者 妻

育児対象 子ども(2歳)



推薦文…

約半年間の交流期間を経て里子が我が家にやってきたのは昨年のこと。それまで夫婦二人でマイペースに過ごしていた生活が子ども中心の生活に変わりました。とは言っても、子どもと過ごす時間の新鮮さが子育ての大変さより勝り、楽しい生活ですが。

少し大変だったのは夫と子どもがかもしれません。交流期間の後半は私と過ごすことが多かったため、子どもが我が家で過ごし始めた時には子どもと夫の間に少し距離が。そして子育てを始めた私と夫の間にいくつか波風が立つことも。その度にどんなふうにするのか、何度も話をしました。そのかいがあってか、私と夫の間で波風が立つことも少なくなり、いつのまにか夫と子どもの距離も縮まりました。

休日は子どもと過ごすのは主に夫が担当。子どもとはしっかり体を使って遊んでくれています。特に子どもは夫の『高い高い』がお気に入り。私から見るとヒヤヒヤものですが、当の子どもはとっても楽しそう。

時には子育て支援センターや公園へ二人で出かけることも。子どもも楽しそうですが、出かける時に「少しはゆっくりしたら。」と私に声をかけてくれる気遣いも嬉しいです。また、私が少しイライラしている時には、そっと子どもを別室へ遊びに連れ出してくれ、私の気持ちが落ち着くのを助けてくれています。

当初は私に懐き夫と二人になると泣いていた子どもも、今ではすっかりパパのことが大好きになり二人で過ごすときも笑顔がでるように。おかげで私も心に余裕を持ちながら笑顔で育児ができています。

そして実は夫は子育てだけでなく料理以外の家事ならどんどこい。それはもうお手伝いレベルではなく、私も脱帽してしまう腕前。気が付いた方が家事をやれば良いという考えの夫にずいぶん助けられています。

ご縁があって子育てをするようになりましたが、父親が家事・育児に参加することで母親にも余裕が生まれ、家族で子育てを楽しむことができるのだと実感しています。我が家の育児男子に感謝!

審査員共感ポイント

- 里親になることを考えている人にとって、勇気のもっともステキなご家族です!
- 夫婦で協力して、とても幸せでステキな育児をされている状況が伝わってきた!
- いろんな家族があるということ、広く知ってもらえる機会になれば、という前向きな思いが伝わってきました!

ファザー・オブ・ザ・イヤヤー in みえ

部門賞

“我が家の育児男子”部門

もり ひろ き
 津市 森 宏記 さん

推薦者 森 由佳さん(妻)

育児対象 子ども(0歳)



推薦文…

オリジナルソング♪これがうちのパパの育児法。赤ちゃんの時なかなか寝ない息子にパパの作った子守唄で、パパの歌声で眠ってほしい、そうすればママもゆっくり眠れるから。そんなパパの優しさから生まれた1曲がきっかけでした。今ではおむつ替えの歌、お風呂の歌、お散歩の歌…。仕事で忙しくママに比べて接することの少ないパパが、パパでもご機嫌になってほしい、歌で生活リズムを覚えてほしいと作った歌がたくさん。その中でも最近の息子のお気に入り、まんまの歌♪

「(歌詞) パクパクゆうくん、おくちあーんして ぼくはもぐもぐ、パクパクゆうくん、パパももぐもぐママももぐもぐ、みんなでもぐもぐあーおいちい♪」

この歌を歌いながら食べる出勤前のパパとの離乳食の時間は楽しいひと時。昼間の育児はママ担当。育児で家事ができず、散らかった部屋に帰宅しても、「今日はたくさん遊べた証だね。あとはやっておくから一緒に寝てあげて。」夕食が作れず、お惣菜を並べても、「一緒にお散歩して買ってきてくれてありがとう」と言ってくれるパパだから、今日も息子と全力で向き合えて楽しかったと思えます。

パパはいつも「ママはおっぱいがあるといいね。赤ちゃんはママのほうが好きなんだね」って言うけれど、パパの大きな腕に抱かれた寝顔は、安心しているよ。だから世界に1つだけのパパの歌とともに、この子を大きくしたい。次のパパのお休みは3人で動物園に行こう! お出かけの歌を口ずさみながら…。

審査員共感ポイント

- 育児する中で見出したオリジナルソング。とても素晴らしい発想だと審査員全員が共感! ぜひ歌声を聞きたい!
- きっとこのご家庭で育ったお子さんはクラスで人気者になるんだらうな。
- 部屋を散らかされても「たくさん遊べたね」と誉められる広い心にも感動!



ファザー・オブ・
ザ・イヤーinみえ

“私の街の育児男子 応援団”部門

鈴鹿市 鈴鹿市立明生小学校
おやじの会

推薦者 江藤 康智さん(同会代表)
育児対象 小学校区に住む子どもたち
(自分の子どもも含む)

部門賞



審査員共感ポイント

- 継続するということの大切さと大変さをたくさんの地域の方々と共有している部分が素晴らしい!
- おやじにしかできない子どもたちの遊び。お母さんにはできないけど、子どもには魅力的!
- 「おやじの会」といいながらも、OB・OGにも輪が広がって、いろんな世代で地域で子育てをサポートしているなんて本当にステキ!

推薦文…

私たち明生小学校おやじの会は、明生小学校の保護者のお父さん方や卒業生のOBやOGなどが自主的に参加して「子どもたちと楽しく、そして時には厳しく」ふれあっていくことを目的としたボランティアグループです。現在20名程の登録者があり、土日を中心に活動しています。

最近の子どもは学校ではどんな様子だろうか?今どきの小学校は?先生方はどんな人?またどんな遊びをしているの?とおやじにはわからないことだらけですが、このおやじの会で活動していく中で、いろいろとわかってきました。

主な活動は、避難所生活体験会という小学校体育館にダンボールハウスを子どもたちと作り、宿泊したりします。その宿泊の夜には、学校内肝試し(お化けはおやじがします)をしたりして楽しみ行事もあります。またTV番組にもあります「逃走中」というゲームもしたりしました。

夏休みには、着衣水泳体験会も開催し、実際に服を着たままプールに入り、着衣の大変さや万一のために背浮の練習などもしたりします。

そして、6年生にはおやじの会主催「6年生を送る会」という行事を開催して、先生方も一緒に参加して小学校生活の最後の思い出作りになればという壮大なゲームをします。

また、6年生が卒業するときはこのおやじの会の主旨に賛同し、中学校になってもおやじの会を手伝いたいという子どもには「おやじの会サポーター」となってもらい、おやじの会の運営を一緒に手伝ってもらっています。

このサポーターも年々入りたいという子どもたちが増えており、おやじにとってはこの上ない喜びでもあります。

このように、おやじの会は実体験などを通して、「おやじ」にしかできないことを計画し、実行しています。

これからも、子どもたちから「こんなことをしてみたい」「あんなことをやってほしい」という意見などを中心に、頑張っけて取り組んでいこうと思っています。

ファザー・オブ・
ザ・イヤーinみえ

“イクボスさん、 いらっしやい!”部門

一般財団法人食品分析開発センター
SUNATEC 勤務

はっとり さとし
名古屋市 服部 聰司 さん
(四日市市勤務)

推薦者 前田 明子さん(同僚)

部門賞



審査員共感ポイント

- 子どもを産むときにばあばの存在がどれだけありがたいか…。「ばあば休暇」って言葉がこれから浸透していくといいな。
- この核家族の時代に周りの社会環境が助け合う社会に変わってほしいという願いを込めて一票!
- 育休さえも取らせてもらえないこともある中、一歩先行く「ばあば休暇」素晴らしい!「じいじ休暇」もほしいですね!

推薦文…

仕事と家庭生活をより充実した日にするために、日々奮闘しているイクボスの服部室長を紹介させていただきます。服部室長のチーム構成は、子育てを卒業された先輩ママがほとんどのチームです。今回ご紹介させていただくエピソードは、「ばあば休暇」取得です。チームメンバーの娘さんがご出産され、育児休業ならぬ「ばあば休暇」を1カ月取得するため、メンバーへの説明、人員の調整等を行い、室長自ら現場へ入ることにより乗り越えた事例です。メンバー自身の育児休業ではなく、おばあちゃんとして娘さんの第2子ご出産のために休暇を取得し、娘さんの第1子のお孫さんの子守りをするといった、初の取り組みでした。休暇を取得する職員は、現場を切り盛りしてくれている主軸のメンバーであったため、他のメンバーの心配も大きかったのですが、そのような不安も事前にメンバー全員と仕事の段取り等について、じっくり話し合い、メンバー全員で情報を共有するように、室長が道を作ってくれたことで、メンバーの不安も払拭され、休暇をとる職員も安心してお休みを取ることができ、残りの職員も安心して仕事ができる環境になりました。

このような、新しいかたち「ばあば休暇」の取り組みができたことで、今後も同様の事例が発生した場合に対応できる成功モデルを作ることができました。我がセンターのイクボスは、このような事例に前向きに取り組んで、さまざまな家庭環境に対応しながら、仕事も続けることができるように支援してくれています!!



同時開催! みえの育児男子
フォトコンテスト

**みえの
育児男子
ベストショット賞**



いなべ市 ^{ひら お あ み} 平尾 亜美さん **被写体** 夫(剛志さん)と子ども



エピソード…
近所の公園で、鉄棒・ブランコ・かけっこ・だるまさんが転んだ等をした後に、久しぶりの高い、高いです。
17kgの姉妹を上げるのは少し大変そうですが、娘たちはすごく楽しそうでした。
夕日と空に舞う娘たちの笑顔が印象的でした。



伊勢市 ^{なか ぜ こ けん ご} 中世古 健吾さん

被写体
伊勢稲作学校
参加親子

エピソード…
自らの手で稲作を行い田植えをする催して張り切る親子。
お米と同様に子どもも「育む」という共通な点を感じました。

津市 ^{あさ くま り か} 朝熊 莉加さん **被写体** 夫(寛さん)と子ども

エピソード…
家族で川遊びへ。水鉄砲がパパに命中しご満悦の息子です。



鈴鹿市 ^{み さ わ あ や} 三澤 亜耶さん

被写体
夫(峻介さん)と子ども

エピソード…
初めてのピクニック。パパに抱っこされてルンルン♪



亀山市 ^{は っ と り り え} 服部 梨恵さん

被写体
義父(信行さん)と子ども

エピソード…
待望の初孫にとっても喜んでくれたじいじ。8カ月になりやっと一緒に遊べるようになったのに、娘は人見知りです、毎回大泣きしています。それでも毎回抱っこしてくれる優しいじいじです。